

旭川龍谷高等学校 令和5年度 授業シラバス

教科名	科目名	単位数	学年	必/選	コース/フィールド
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間	1	2	必	特進コース
科目の目標	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成する。				
教科書	Locus program2、マイナビ 志望理由の組み立て方、マイナビ	副教材等	適宜使用する。		

1. 学習の到達目標

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造しよりよい社会を実現しようとする態度を養う。

2. 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：X(知識・技能)，Y(思考・判断・表現)，Z(主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
Chapter1 1時間目 地域の課題について考える(前編)	1	4	身近な地域をテーマにすることで、課題の発見や分析を行う方法を身に着ける。	○	○	○
2時間目 地域の課題について考える(後編)	1		課題の解決には、知識、技術、資格が必要なことに気づく。	○	○	○
Chapter2 3時間目 地域の産業を知る(前編)	1	5	地域産業を形成する組織や個人、地域での役割、魅力や強み、課題解決例といった知識を得る。	○	○	○
4時間目 地域の産業を知る(後編)	1		インターネットでの情報収集やRESASを使った情報分析の基礎的な手法を身につける。	○	○	○
Chapter3 5時間目 地域の課題に学問でアプローチする(前編)	1	6	地域の課題解決に「学」がどのようにかわることができるのかをつかみ、その必要性に気づく。	○	○	○
6時間目 地域の課題に学問でアプローチする(中編)	1		学問の内容、分析、構成など、今後の検討に役立つ知識を得る。	○	○	○
7時間目 地域の課題に学問でアプローチする(後編)	1		学問の内容、分析、構成など、今後の検討に役立つ知識を得る。	○	○	○
Chapter4 8時間目 学問や産業と、行政がどう連携できるか知る(前編)	1	7	「官」の役割や「産」「学」との連携の効果をつかむことで、課題解決に対する視野を広げる。	○	○	○
9時間目 学問や産業と、行政がどう連携できるか知る(後編)	1		産官学連携を自分ごと化し、自分自身のこれからの学びや将来像に「結びつける。	○	○	○

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
Chapter5 10 時間目 地域の未来と自分の未来を変える(前編)	1	8	「官」の役割や「産」「学」がどのように関わることができるのか、どう連携ができるのかを考える方法をつかむ。	○	○	○
地域の未来と自分の未来を変える(後編)	1		産官学連携を自分ごと化し、自分自身のこれからの学びや将来像に結び付ける。	○	○	○
志望理由書についての導入	1	9	志望理由とは何かを理解する。	○	○	○
WORK1.2 興味、関心、経験の整理	2		自分の興味、関心と向き合い「自己分析」をする。	○	○	○
WORK3.4 志望先調べ	2	9.10	自分が志望する学校の情報を整理し、学部、学科、コースについて調べる	○	○	○
WORK5～10 強みの自己分析、他己分析	6	10.11	自分が取り組んできたことを分析する。また、集団におけるポジションや自分を客観視してみる	○	○	○
WORK11.12 社会と学びのつながり	4	11.12	自分の進路の社会課題を調べ、将来像と志望先の繋がりを考える。	○	○	○
WORK13 志望理由書の作成	4	2.3	これまでの取組みを踏まえて、読み手の印象に残る文章を作成するためのポイント、コツを学ぶ	○	○	○